

人口・世帯に関する基礎データ集 (金谷区)

令和4年9月改訂
上越市創造行政研究所

■ はじめに（データの定義・出所について）

このデータ集は、各地域自治区における人口・世帯数の概要をご紹介します。過去から現在までの変化や、上越市全体あるいは他の区との比較などを通じて、地域課題や今後の目標・方向性などを考えるための参考資料としてご活用ください。

なお、データの詳細な分析や二次利用などされる場合には、下記に示したデータの定義や出所にご留意ください。

○ データの出所は国勢調査が中心であり、補完的に住民基本台帳などを使用しました。

国勢調査は5年ごとの調査ではありますが、実際に住んでいる人の数がわかり、その内訳の把握や全国との比較などにも便利です。最新値は2020（令和2）年です。

なお、国勢調査と住民基本台帳ではそれぞれ人口の定義が異なるため、値が一部異なります。

○ 地域自治区別のデータは、町丁字（住所）単位のデータを合計したものです。

実際の地域自治区は行政区（町内会）単位で構成されているため、合併前上越市の一部の区では、実際の値と一部異なります。

○ 将来推計人口は、あくまでも一つの目安であり、市の公式見解ではありません。

ある仮定条件に基づき比較的簡便な方法で推計した人口であり、実際の人口は今後の諸条件の変化や取組状況によって変わりうるものです。

特に、シナリオ①は最近の傾向が続いた場合の目安であるため、今後の地域づくりにおいてはこの状態を前提と考えるのではなく、シナリオ②で示したような状態を想定して取り組まれることを期待するものです。

○ 「年」の定義は、データの種類によって異なります。

国勢調査のデータは10月1日基準であるため、このデータ集における人口増減の対象期間は前年10月～当年9月としています。

統計によっては年度（当年4月～翌年3月）や暦年（1月～12月）を対象期間とするものもありますので、他のデータと比較される際はご注意ください。

○ このデータ集を加工・編集して二次利用することは避けてください。

引用される場合は、上越市創造行政研究所の作成であることを明記してください。

人口・世帯に関する基礎データ集（金谷区）

目次

1 人口

● 区の人口はどのように変化してきたか？ 上越市全体や他の区と比較してどうか？

1 総人口の推移 金谷区・上越市（1970～2020）

2 総人口の増減率の比較 市内 28 区（1970-2020）

● 区の人口を年齢別にみるとどうか？ 上越市全体や他の区と比較してどうか？

3 年齢別人口〔3 区分〕の推移 金谷区（1990～2020）

4 年齢別人口〔3 区分〕の比較 市内 28 区（2020）

5 年齢別人口（5 歳階級別人口ピラミッド） 金谷区（2020）

2 人口増減

● どの年齢層でどのくらい人の増減があるか？

6 年齢別にみた人口増減 金谷区（2015-2020）

● どの地域とどのくらい人の増減があるか？ 他の区と比較してどうか？

7 転入・転出先別にみた人口増減 金谷区（2015-2020）

8 人口動態の比較 市内 28 区（2015-2020）

3 将来推計人口

● 区の将来人口はこのままのペースでいくとどうなるか？ 少し頑張るとどうか？

9 シナリオ① 最近の傾向が続いた場合の人口推移 金谷区（～2050）

10 シナリオ② 持続可能な定住促進が実現した場合の人口推移 金谷区（～2050）

4 世帯数

● 区の世帯数はどのように変化してきたか？ 上越市全体と比較してどうか？

11 総世帯数の推移 金谷区・上越市（1970～2020）

● 区の世帯構成はどのように変化してきたか？ 他の区と比較してどうか？

12 世帯構成の推移 金谷区（1990～2020）

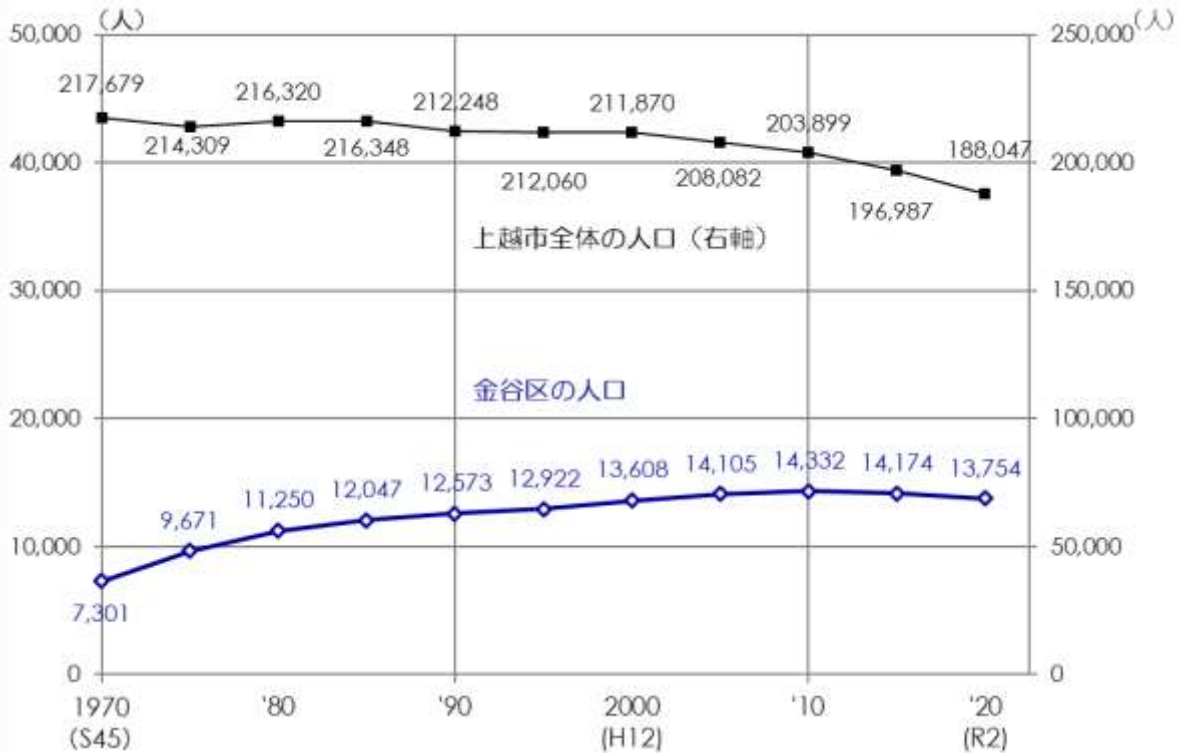
13 世帯構成の比較 市内 28 区（2020）

1 人口

● 区の人口はどのように変化してきたか？ 上越市全体や他の区と比較してどうか？

図1 総人口の推移

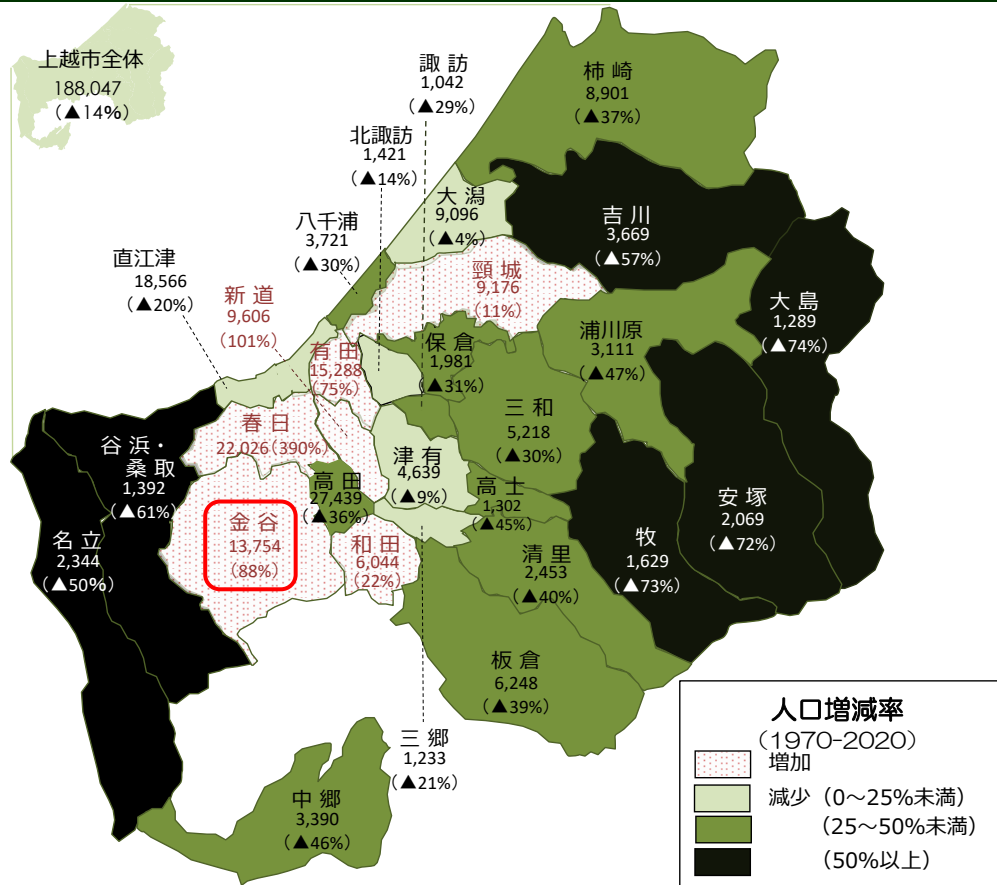
金谷区・上越市 1970～2020



資料) 総務省「国勢調査」及び上越市資料をもとに作成

図2 総人口の増減率の比較

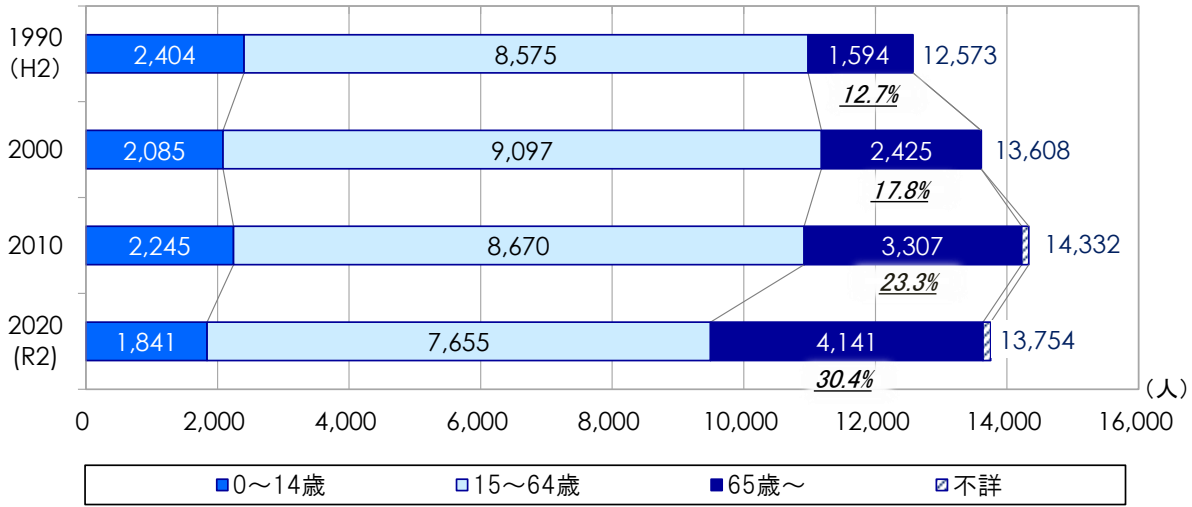
市内 28 区 1970-2020



資料) 総務省「国勢調査」及び上越市資料をもとに作成

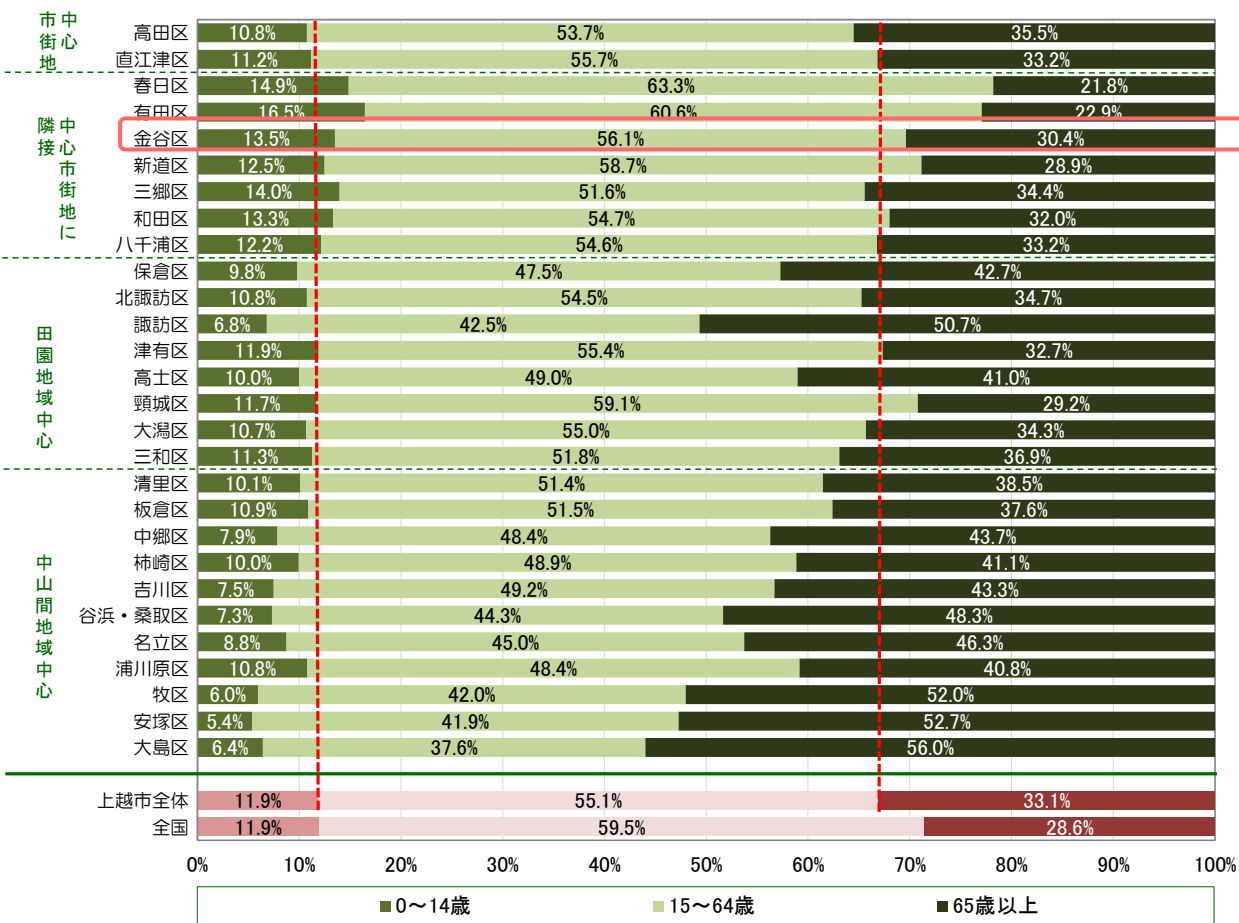
● 区の人口を年齢別にみるとどうか？ 上越市全体や他の区と比較してどうか？

図3 年齢別人口（3区分）の推移 金谷区 1990～2020

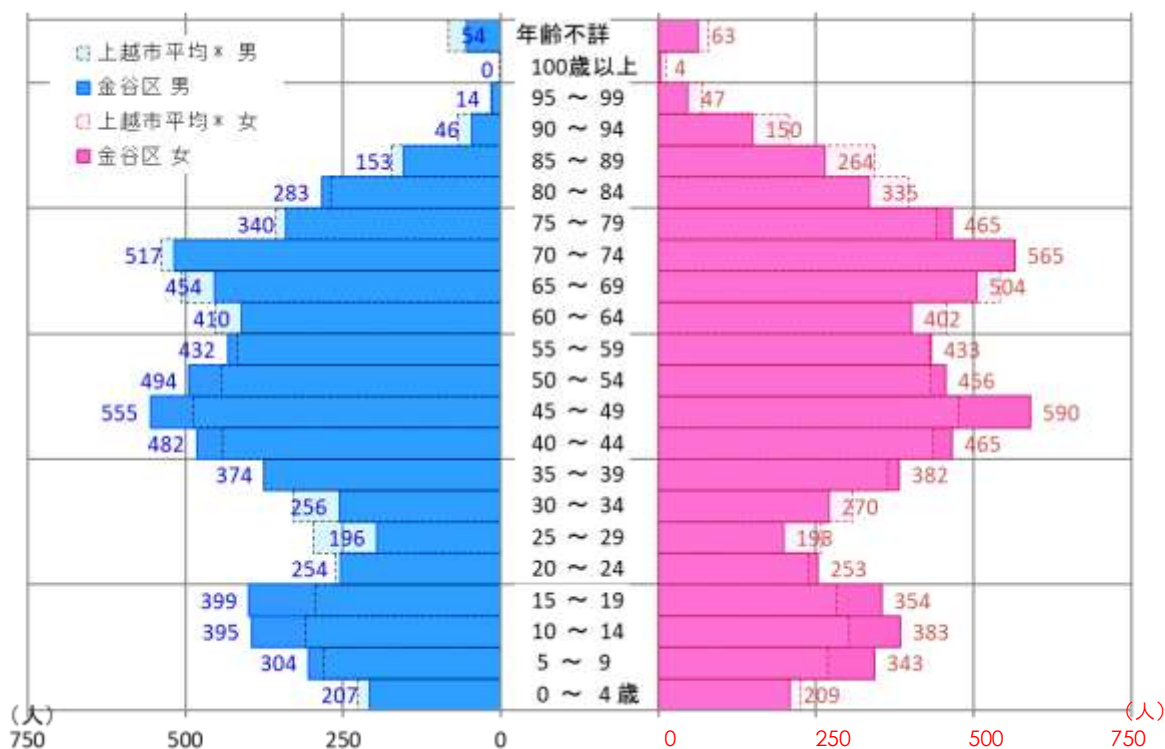


備考) % (下線表示) は高齢化率。合計値には年齢不詳分を含む。
資料) 総務省「国勢調査」及び上越市資料をもとに作成

図4 年齢別人口（3区分）の比較 市内28区 2020



資料) 総務省「令和2年国勢調査」をもとに作成

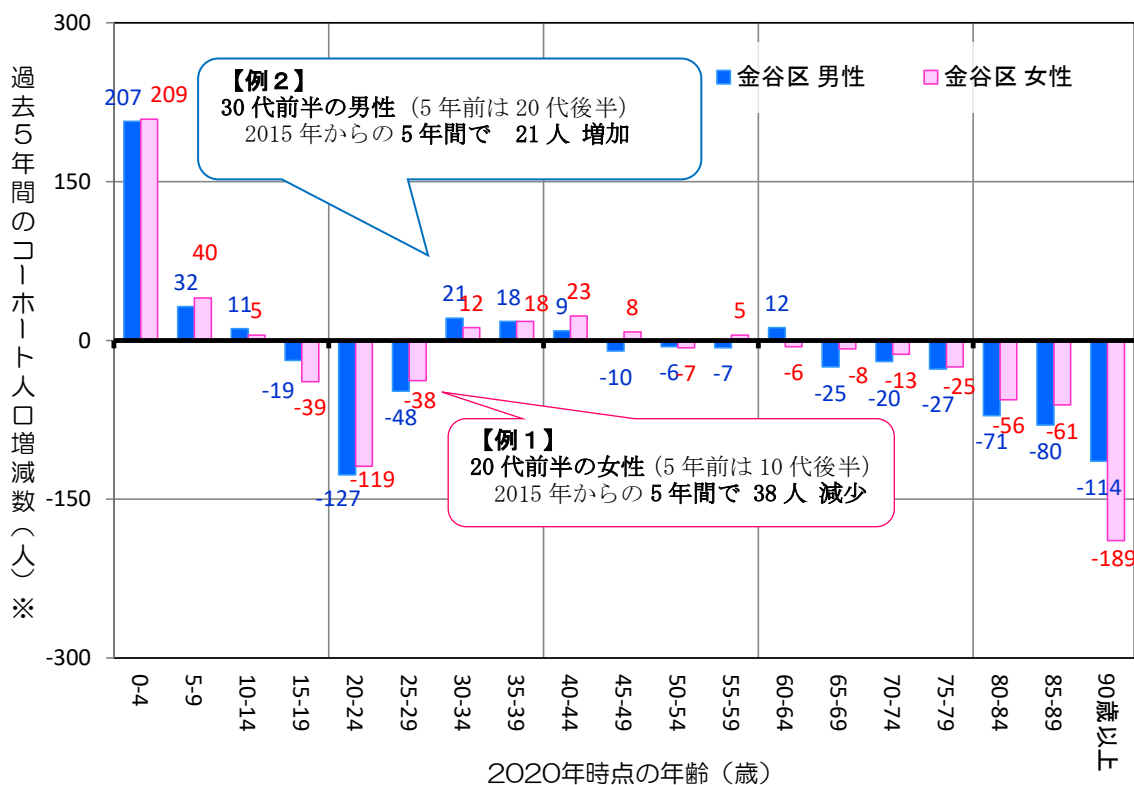


備考) 上越市平均* は、上越市の人口ピラミッドの形を地域自治区の人口規模に合わせて重ねたもの（年齢別の構成比率が、上越市平均に比べて高いか低いかを見るためのもの）
資料) 総務省「令和2年国勢調査」をもとに作成

2 人口増減

● どの年齢層でどのくらい人の増減があるか？

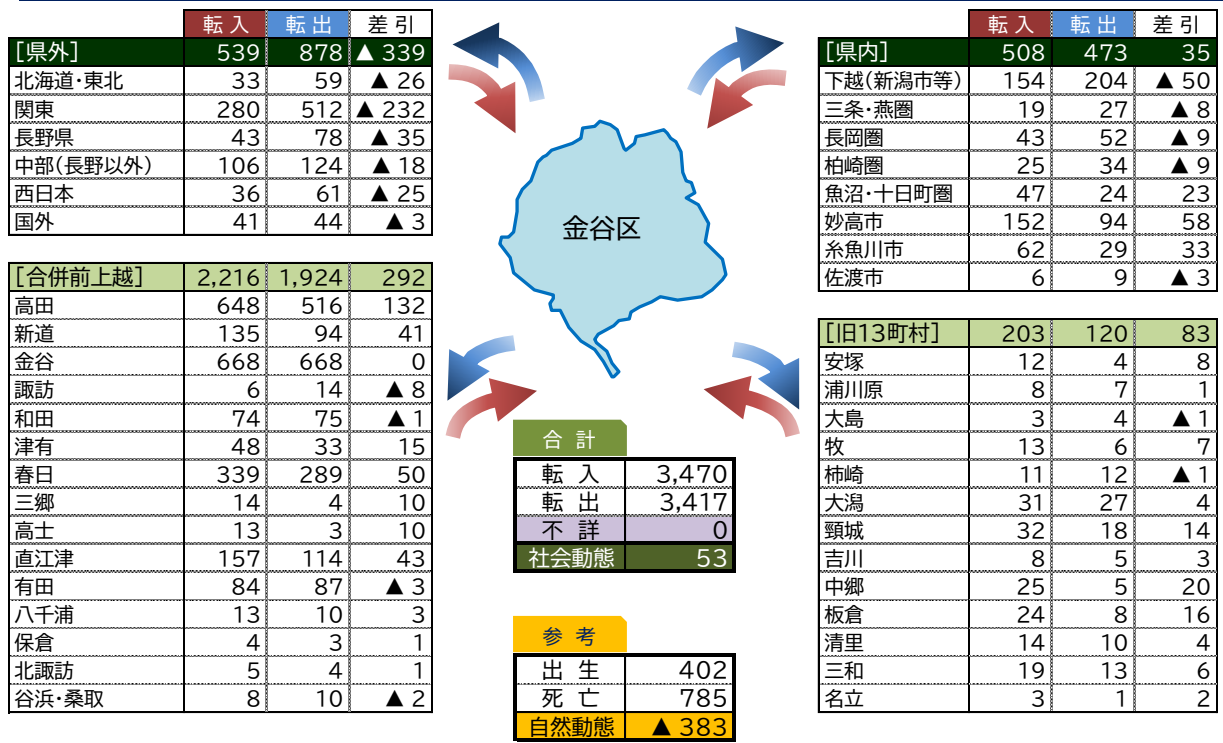
図6 年齢別にみた人口増減



備考) ※は、5年前の5歳若い世代（すなわち同じ生まれ年のグループ）の人口と比較したもの。
資料) 総務省「国勢調査」をもとに作成

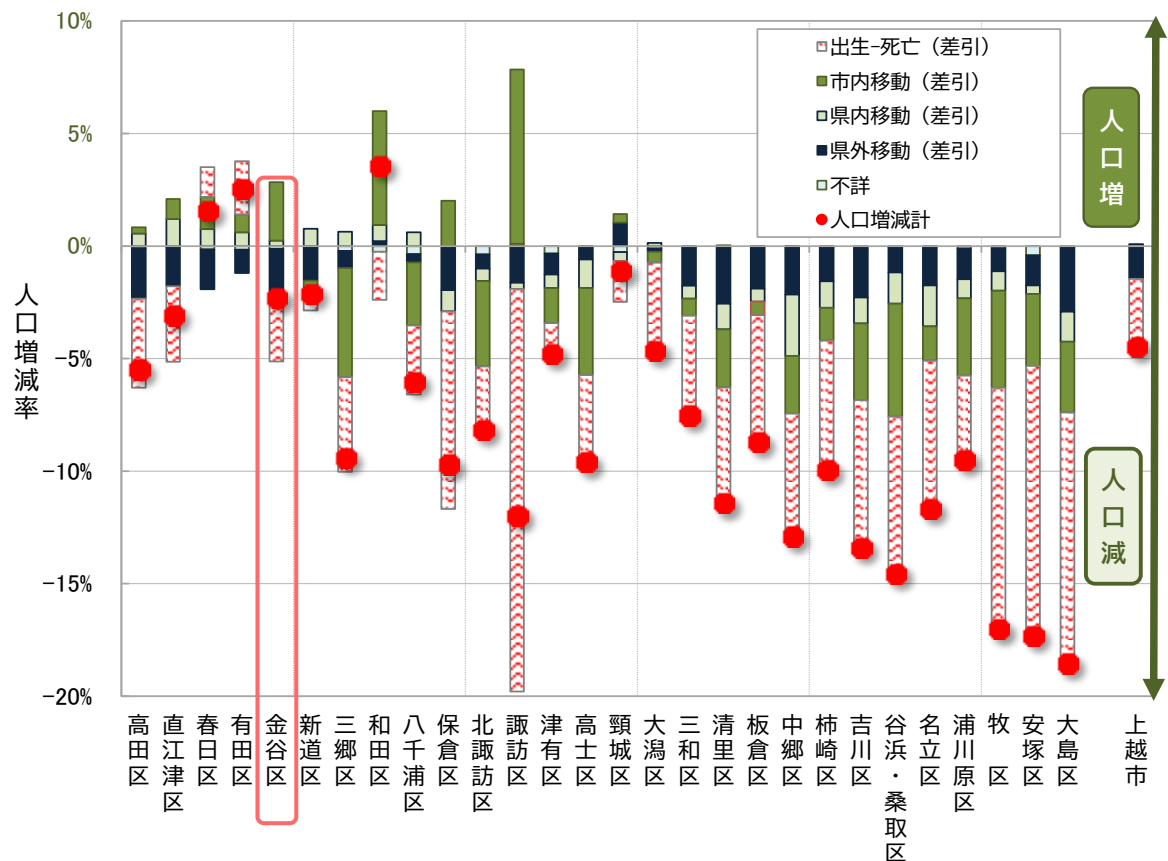
● どの地域とどのくらい人の増減があるか？ 他の区と比較してどうか？

図7 転入・転出先別にみた人口増減 金谷区 2015-2020



資料) 「新潟県人口移動調査結果報告」及び上越市住民基本台帳データをもとに作成
備考) 転入・転出の合計値には職権記載・消除及び不明分を含む

図8 人口動態の比較 市内28区 2015-2020



資料) 「新潟県人口移動調査結果報告」及び上越市住民基本台帳データをもとに作成

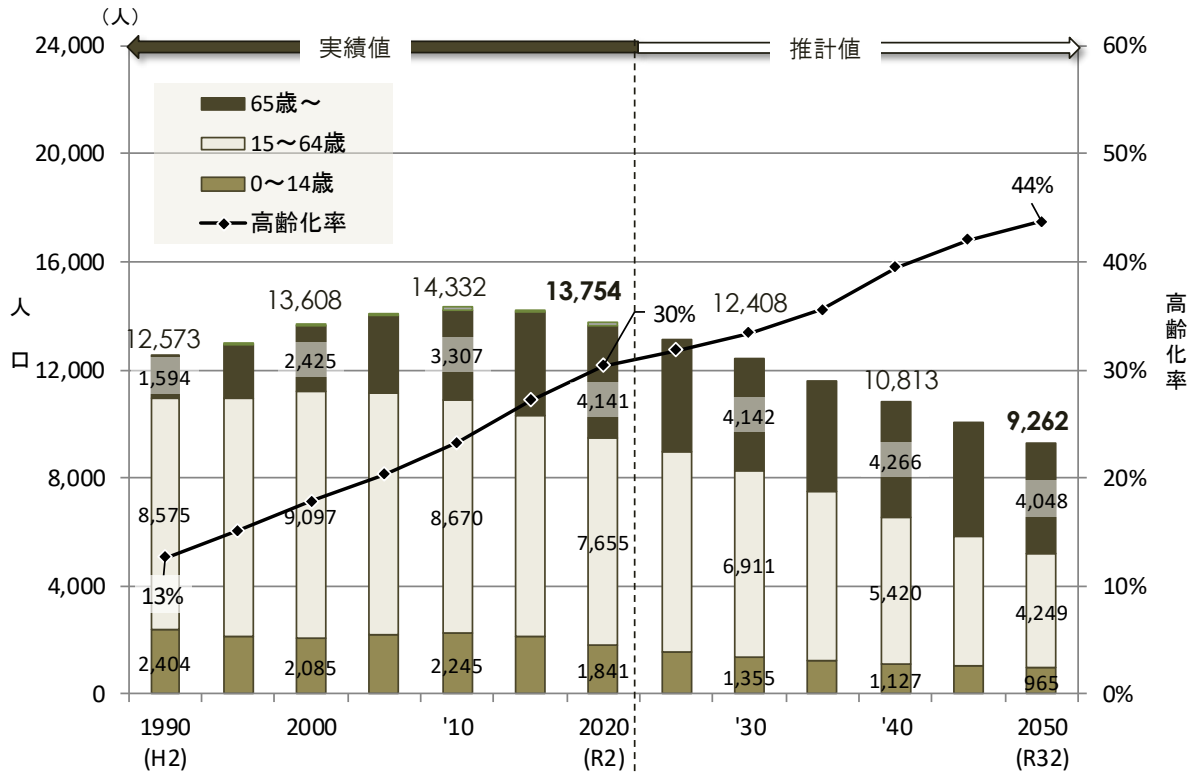
3 将来推計人口

- 区の将来人口はこのままのペースでいくとどうなるか？ 少し頑張るとどうか？

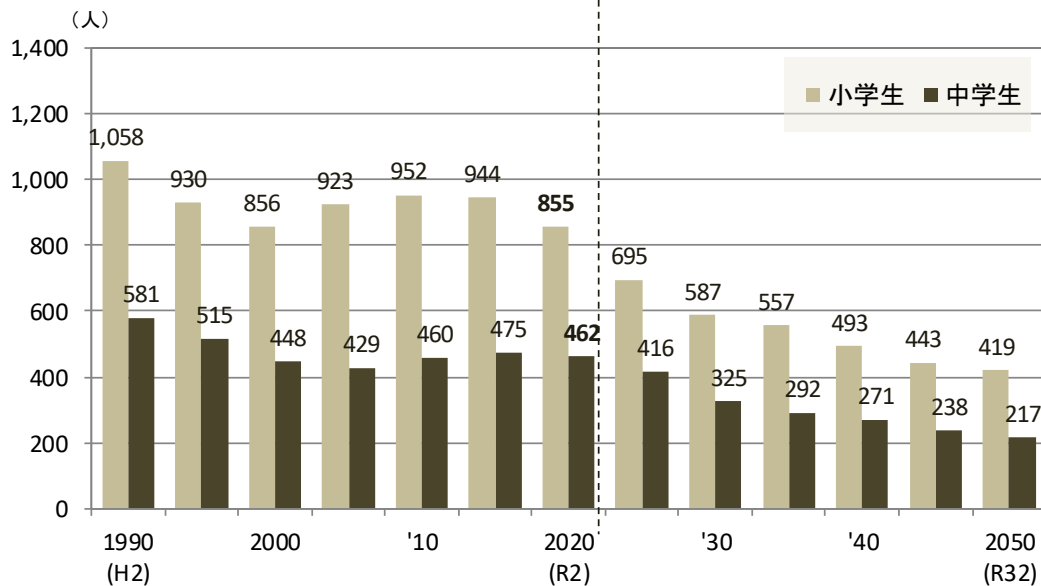
図9 シナリオ1 最近の傾向(※)が続いた場合の人口推移 金谷区 ~2050

※ 年齢別人口増減の2010~20年における割合が今後も続くものとして推計

- 年齢3区分別人口 (1990実績-2050推計)



- 小・中学生人口 ※ (1990実績-2050推計)



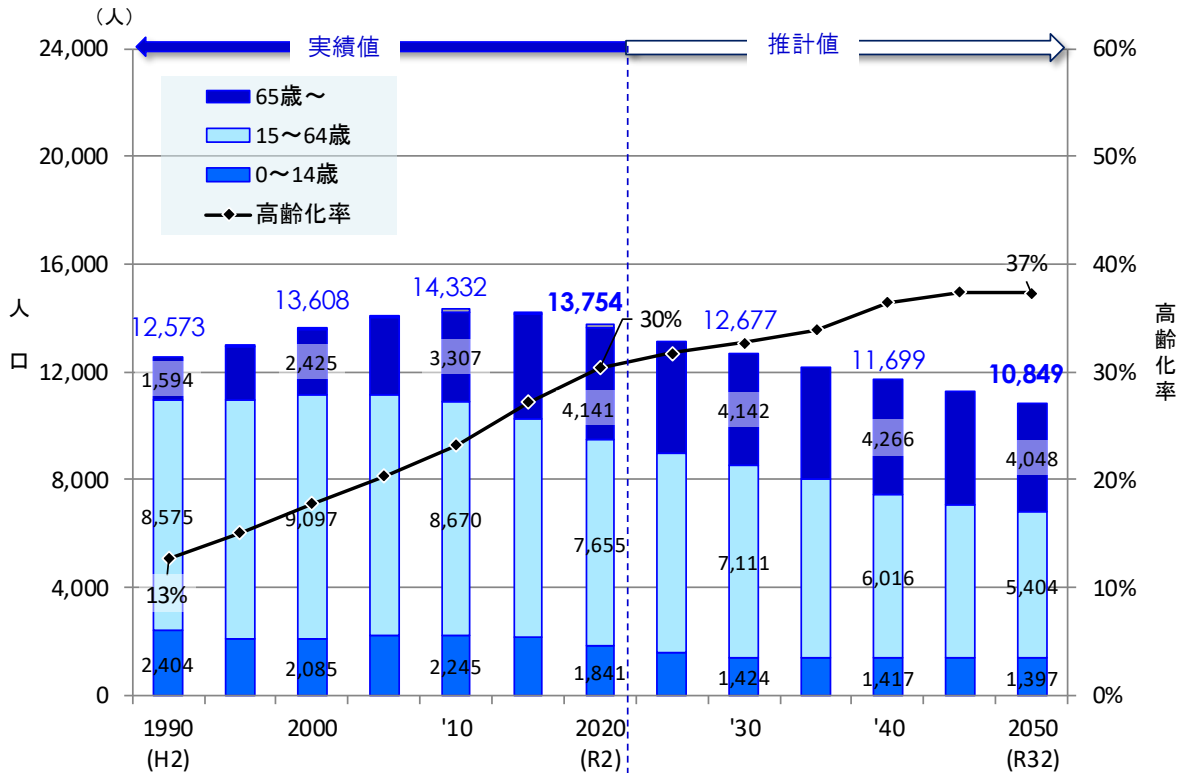
備考) ※は5歳階級別人口を基にした概算値であり、実際の小・中学生の数とは若干異なる。
資料) 総務省「国勢調査」及び上越市資料を用いたコーホート変化率法による推計値をもとに作成

※ 子どもの数の減少傾向が止まり、将来的には総人口や世代間の人口バランスが安定する状態を目標に設定。2025 年以降、その達成に向けて以下の動きが実現した場合を想定して推計。

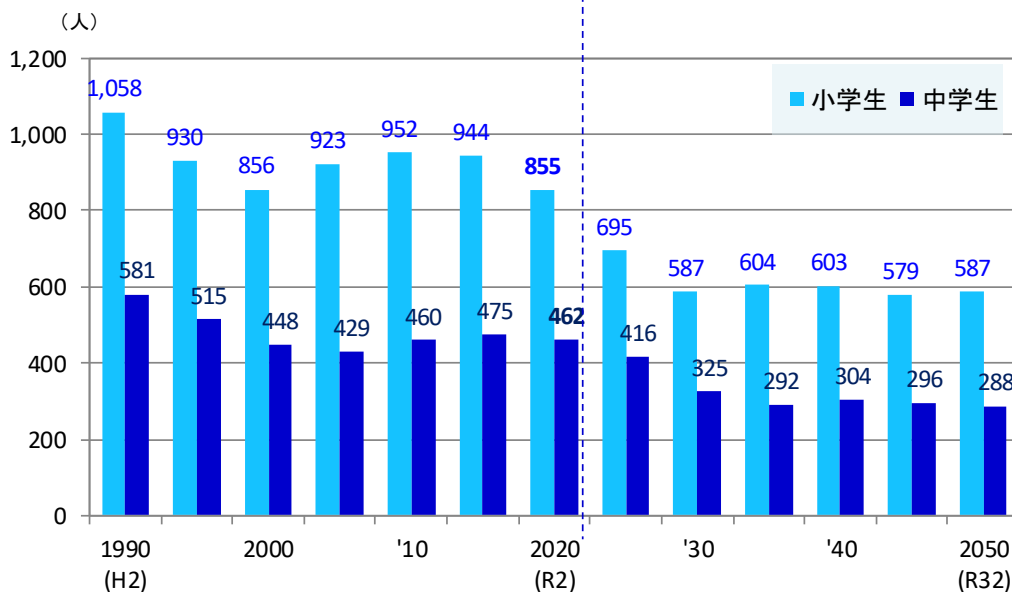
シナリオ 1 に比べて・・・

- 毎年さらに 10 組の〔30 代前半夫婦と 4 歳以下の子ども〕が転入 = 30 (人)
- 毎年さらに 10 組の〔20 代前半夫婦〕が転入 = 20 (人)

● 年齢 3 区分別人口 (1990 実績 - 2050 推計)



● 小・中学生人口 ※ (1990 実績 - 2050 推計)



備考) ※は 5 歳階級別人口を基にした概算値であり、実際の小・中学生の数とは若干異なる。
資料) 総務省「国勢調査」及び上越市資料を用いたコーホート変化率法による推計値をもとに作成

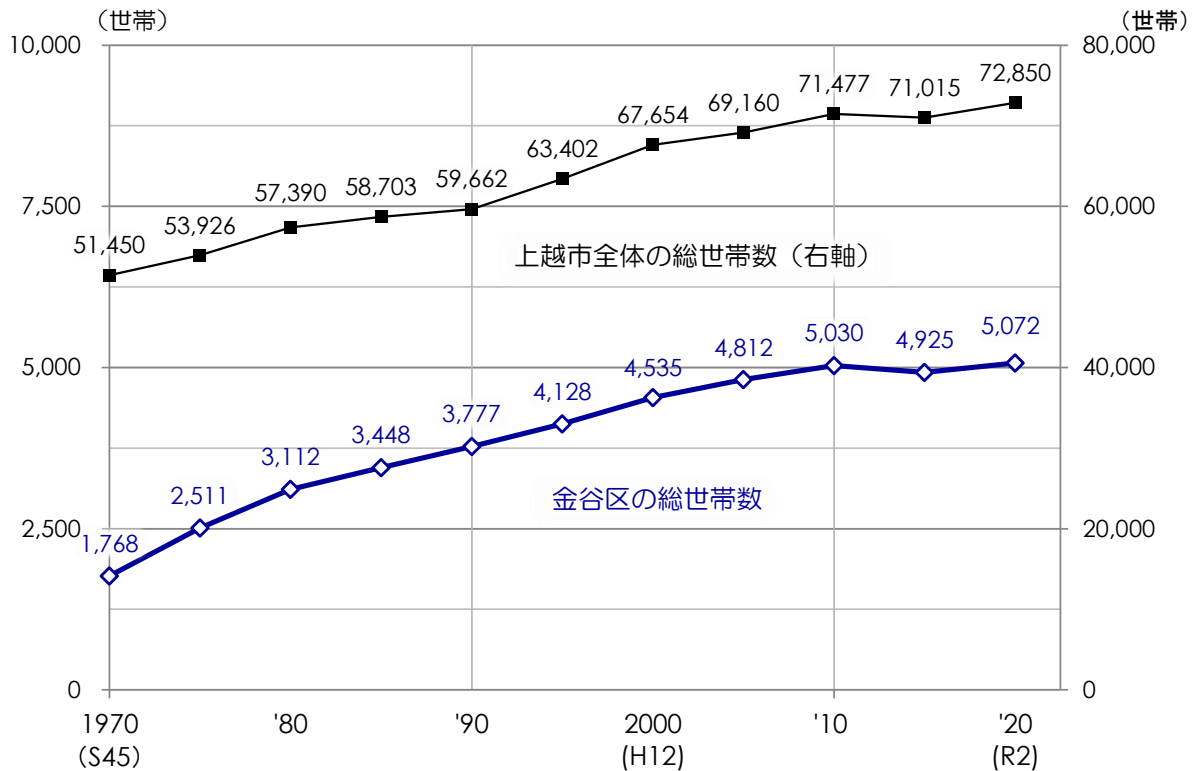
4 世帯数

● 区の世帯数はどのように変化してきたか？ 上越市全体と比較してどうか？

図 11 総世帯数の推移

金谷区・上越市

1970～2020



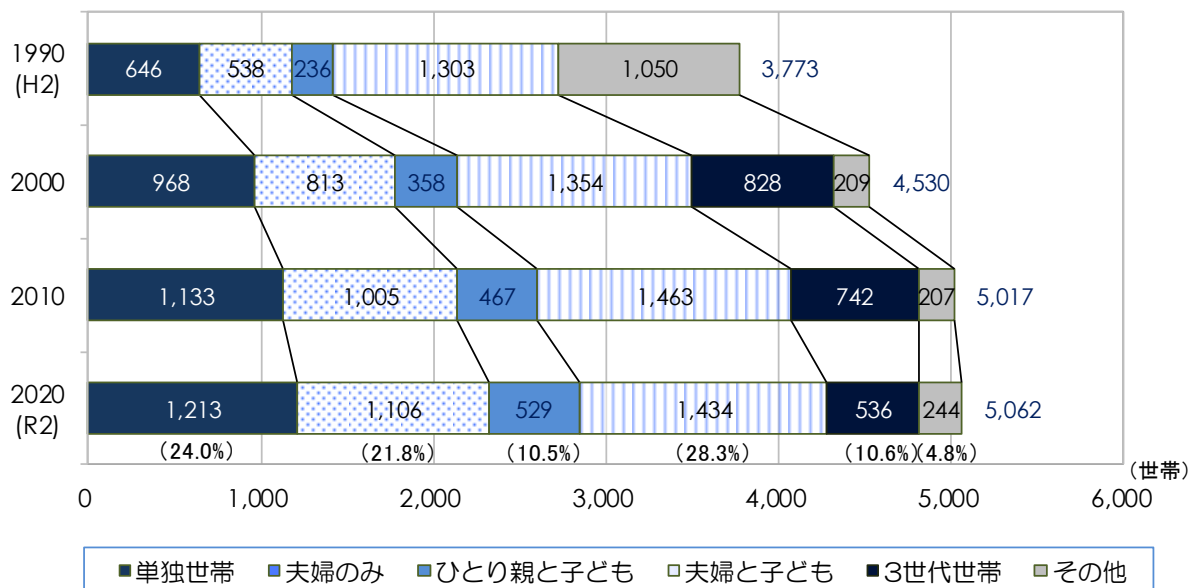
資料) 総務省「国勢調査」及び上越市資料をもとに作成

● 区の世帯構成はどのように変化してきたか？ 他の区と比較してどうか？

図 12 世帯構成の推移

金谷区

1990～2020



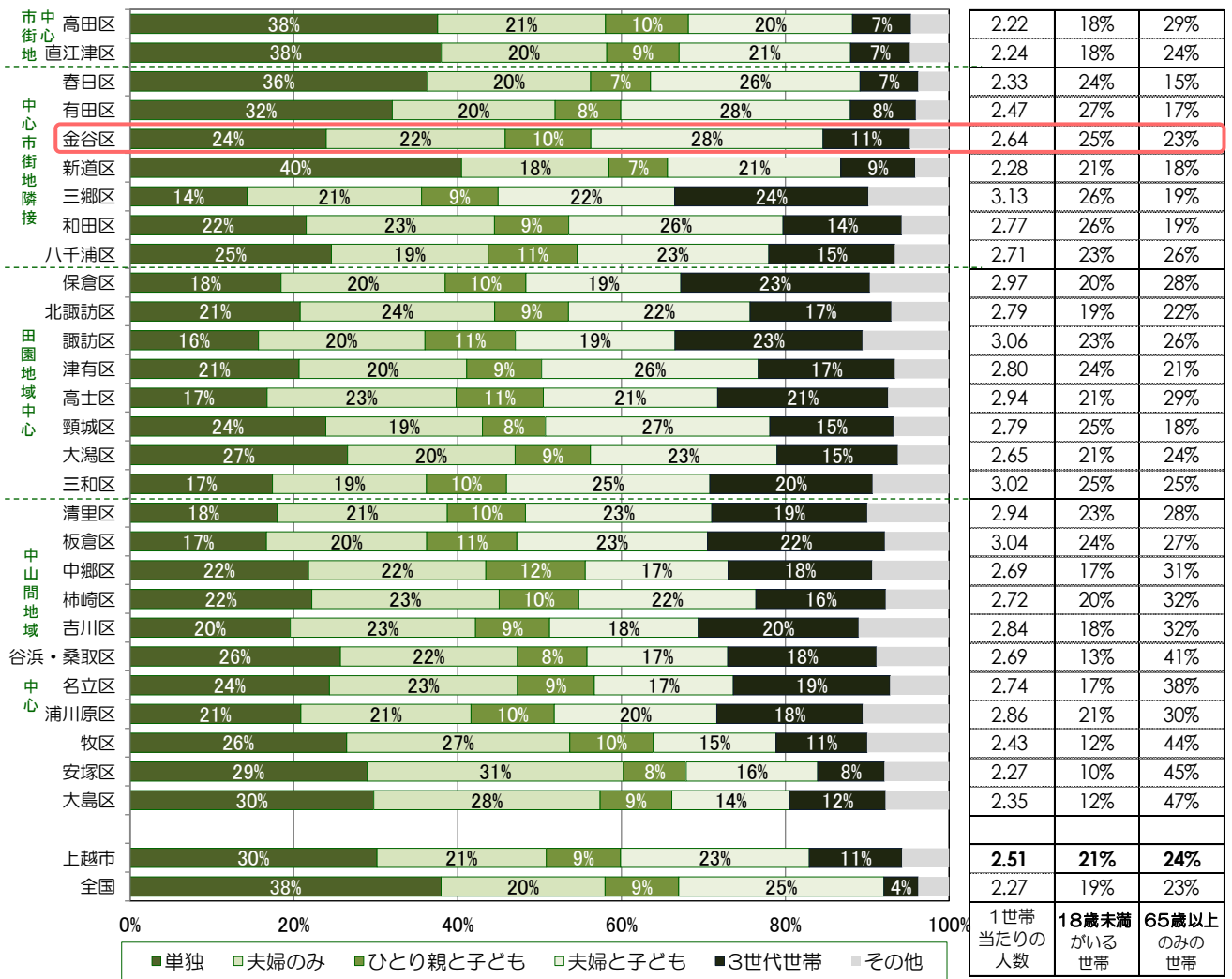
備考) 施設等の世帯(寮・病院・社会福祉施設など)を除く「一般世帯数」であり、合計値は「総世帯数」よりも若干少ない。1990年の3世代世帯は、「その他」に含まれる。

集計方法の制約上、数世帯程度の誤差が生じる場合もある(小地域集計の秘匿計算によるもの)。

2020年の棒グラフ下の数値は、全体に占める割合(%)を示す。

資料) 総務省「国勢調査」及び上越市資料をもとに作成

図 13 世帯構成の比較 市内 28 区 2020



備考) 施設等の世帯(寮・病院・社会福祉施設など)を除く「一般世帯数」の内訳を示した。
 資料) 総務省「令和2年国勢調査」をもとに作成